

## 第2回 岩内町立小中学校運営協議会推進委員会 議事録

日 時 平成30年6月28日(木) 18:00~19:00

場 所 岩内町立岩内第一中学校 会議室

### 議 事 内 容

(本間委員長)

定刻になりましたので、ただいまから「岩内町立小中学校運営協議会推進委員会」を開催いたします。前回の推進委員会でお伝えしました、学校の応援団として実施する事業の検討に向け、皆さんが考えた事業の提出をお願いしたところ、たくさんの事業の提出がありました。

本日は、提出のあった事業を事務局で集計いたしましたので、それを皆さんに報告した後、提出のあった事業についての協議を行いたいと思います。

それでは、事務局より、内容の説明をお願いいたします。

(事務局)

学校の応援団として実施する事業について ~配布資料により説明~

(本間委員長)

ただいま、事務局より説明がありましたが、これについてご意見などございませんか。

(藪委員)

学校の応援団としての活動をしていただけると学校としても大変助かる。北海道のCSの状況を見ますと、今年度あたりには全国の平均を上回っていくのではないかと思います。後志管内においては、まだこれからという部分もあります。それぞれの学校の課題を地域の方と一緒に解決していくために、学校運営協議会が大きな役割を果たしていくと思います。各学校で事業を絞り込んでいくということですが、町全体で取り組んでいくことはできないでしょうか。

例えばスマホの利用や不登校の問題です。各学校の対応ではなくて、町全体で取り組んでいき、地域の方の力を借りながら進めていければと思います。

(今村委員)

事業の選定についてですが、各学校で2~3事業に絞り込んでいいのでしょうか。

また、資料にありました、現在取り組んでいる事業を選んでもいいのでしょうか。

(事務局 青山課長)

各学校で資料にあげている事業やその他の事業を含めて2~3事業に絞り込んでいただき、その後、校長会で協議していただいて、いくつかの候補をあげていただきたい。ボランティアの方との関わりなどを事務局と話し合いながら、決めていきたいと思います。

今話し合っている内容は、平成31年度からの実施予定の事業となります。皆さんと事業を決めていき、来年度にむけて西側と東側に一つずつ学校運営協議会を立ち上げ、その協議会が事業を

進めていくことになろうかと思えます。協議会を立ち上げてからすぐには、事業を取り組めないと思えますので、推進委員会の中で進めたい事業をあげていき、協議会の中で事業をやっていく。並行して、学校経営計画等の承認をいただきながら、さらに次年度の新たな事業も含めて継続して進めるような形を作っていきたいと思えます。

現在、取り組んでいる事業をさらに幅を広げて取り組んでいくこと、例えば、東小学校で取り組んでいない事業を、西小学校で、また、小学校で取り組んでいることを中学校でもということも、有りだと思えます。

(今村委員)

ある程度、範囲を絞った事業がいいのでしょうか。東と西であがってきた事業が全く違うものが出てきた場合、どのようにしていったらいいのでしょうか。ある程度、共通した事業を選ぶ必要はありますか。

(事務局 青山課長)

あげていただいた事業の中で、最終的にどんな事業を実施ができるのかを、ボランティアの方と話し合っていないといけませんので、ある程度候補をあげていただき、実施したい事業の順位をつけていただきたい。そうなっていくと、どういった形で取り組んでいくのか、ということが問題になりますので、それを含めて、実際に平成31年度からできる、できないというところを校長会に戻して、そういう繰り返しをやった中で、全体として2～3程度の事業を選定できればと思っています。

(第一中学校 加藤委員)

今のお話の中に、学校の応援団は平成31年度を東側と西側で立ち上げて、その事業を進めていく、ということですがけれども、実際に運営協議会は学校区の中で、どのような形で設置されて、どのように運営していくのか、その部分はどうなっているのでしょうか。

(事務局 青山課長)

西側と西側の協議会の人選については、今後の推進委員会で協議していきます。推進委員会の委員の方に協議会に入っただき、新たなメンバーを含めた人選を考えていきたいと思えます。

時期は、できれば平成31年度の早くて4月、遅くとも6月頃には、立上げをしていきたいと思っています。推進委員会の中で、これから重要になってくるのが、学校の運営方針を承認するという役目が出てきます。その時期をいつにするのか、どのような形で運営していくのか、そういう部分も推進委員会の中で協議していきたくと思っています。

(第一中学校 加藤委員)

運営協議会の今後の進め方というのがありますか。

運営協議会というのは、応援団が主体となって進めるものではなくて、あくまでも学校運営のサポートだとかを進める中で、どう地域の方に関わっていただくか、協力していただくかということなので、この応援団事業ありきのものではないと思えます。それは、あくまでも一部であると思えます。そして、東側と西側でそれぞれ運営協議会を立ち上げて、これらの事業を平行して

進めていくのには無理があるではないかと思えます。

応援団の取組として協力していただくのは、先ほど藪委員からのお話にあったように、非常に意義がありますし、いいと思うんですけども、実際にそれを行うために、各学校の教育課程、来年実施するとしても、それを学校がどのようにして教育課程に位置付けていくのか、という問題もありますし、小学校と中学校がそれぞれありますけれども、岩内第二中学校さんがあげている「職業体験」の部分は、第一中学校もやっていますから、どちらの学校も共有できるものだと思います。

将来的に5～6年先の義務教育学校を見据えたときに、第一中学校と第二中学校、東小学校と西小学校がばらばらにやっても意味がないというか、せっかくこういった事業に協力してくれるボランティアや団体があるのであれば、将来の義務教育学校を見据えて運営をしていかなければいけませんので、今年度、校長会でまとめるといっても、無理があると思えます。

将来的なことを見据えて提案をしていただけるのであれば、来年実施とするよりは、ある程度イメージをさせながら、進めていくのが、現実味があると思えます。

(今村委員)

運営協議会は、平成31年度4月になったら立ち上がってしまうのか、ということの確認と、また、事前に準備委員会というものがあるとスムーズに進めていけるのではないかと思えます。

自分が想定しているのは、あまり難しい事業ではなく、今まで取り組んでいるものしかできないのではと思っています。

(佐古岡委員)

いろんなことが進んでいくのですが、なかなかイメージがしづらいところがあります。事業を束ねる方が、うちの学校にいるのか、中学校にいるのか、地域の方なのか、学校に週に何日間か来てくれる方なのかということがわからない。加藤委員がお話しされていたように、数年後に義務教育学校ができるのに、協議会を2つ立ち上げて、それをまた1つにしていくとどうなるのだろう、というような、いろんなことを考えながらやっています。

今までやっていたことは、継続していけると思いますが、平成31年度4月からというのは難しいと思えます。

(事務局 青山課長)

4月に運営協議会を立ち上げて、事業を進めるのは、その後になると思えます。将来的な部分ですけれども、東側と西側に運営協議会を立ち上げることにはなりますが、それぞれ活動するのではなくて、年に数回は同じ会議や取組を行っていく。それぞれの協議会である程度の共通部分を持って進めていきたい。そうすると、義務教育学校になる時にも無理なく進められると思えます。

他市町村の取組をみていて、コーディネーターの方が中心になって、運営協議会を進めていくパターンも確かにありますが、ただ、コーディネーターの人材がなかなか見つからないという課題もあります。4月には運営協議会を立ち上げますが、最初から難しい事業を進めることは無理があると思えます。スマートフォンやインターネットの使い方といった事業になると、地域の方にもご協力をいただくことが必要となってきます。将来的にはそういったことも含めて、考えていかなければならないと思っています。

協議会の立上げは、4月もしくは6月になろうかと思います。条例を組まなければならないので、議会の3月定例会もしくは6月定例会になりますので、議会で通った後の立上げになります。そして、協議会の体制もこの推進委員会で決めていきたいと思います。

(第一中学校 加藤委員)

そういった計画があつて、こういったことをやりますという提案が大事だと思います。先が見えない中で、この応援団の事業だけが進んでいってというのは、将来どうなるのかが、何も書面で提案が無いというのが、学校現場としてすごく不安です。だから、将来こういう計画を進めていくので、そのために、今こういう準備をしているといった提案がほしいです。

この会議以前に、条例を3月または6月に決めて、進めていくという提案が無かったので、今後、この応援団事業のために、どういうことを取り組むのかを提案していただきたい。

(事務局 青山課長)

次回までに、ある程度のスケジュールを皆さんに提示したいと思います。

(本間委員長)

現在取り組んでいる事業もありますが、ぜひこういった事業に取り組んでほしいというものはないでしょうか。

(加藤委員)

子どもたちのスマホの使い方の問題、SNSを含めた使い方を岩内町として、なんらかの指導や使い方を示していけたらと思います。使う年齢層も下がってきています。知識を大人たちも深めなければいけないと思います。

(本間委員長)

それでは、次回までに各学校で事業を絞っていただきますが、期限はありますか。

(事務局 青山委員)

現在、会議を欠席されている校長先生もいらっしゃいますので、各学校に持ち帰っていただきまして、特に期限は設定いたしません。事業案が校長会から出てきましたら、事務局と話し合いを行いながら、進めていければと思います。

(本間委員長)

それでは、以上をもちまして、岩内町立小中学校運営協議会推進委員会を終了したいと思います。本日は、大変ご苦労様でした。